

あけぼの

第29号

令和2年8月1日発行

教委人権教育課

☎229-3253 FAX 229-3017

未来へつなげるために 今、伝えたい私たちの思い

～新型コロナウイルス感染症が拡大する社会から見えてきたこと～

新型コロナウイルス感染症が、世界中に広がり、半年以上経ちます。この間、国内でも感染症拡大を防止するため、学校の教育活動や企業等の就労、そして日常生活においても外出自粛などさまざまな制限や制約が設けられました。さらには新しい生活様式が提言されるなど、これまで経験したことのない状況が生まれ、今まで当たり前だと思っていた生活が大きく変化しました。その中で、さまざまな問題も起きました。

その一つが、社会問題としても大きく取り上げられた、新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷や差別的行為です。ウイルスに感染することに対する不安や恐怖心から、ウイルス感染に関わる人々を排除したり、誹謗中傷や差別したりするなどの行為となり、人と人とのつながりが分断されてしまうようなことが起きました。

これらのことは、これまで潜在化していた意識

が表面化したのではないかと感じています。だからこそ、私たち一人一人が自らの中にある「自分には関係ない」「自分さえよかったら」などの意識と向き合いながら考え行動する時なのだと思います。

感染を防いだり恐れたりすることと、人を攻撃したり差別したりすることは違います。互いを排除し合うような社会は誰にとっても生きにくい社会なのではないでしょうか。

今回のあけぼのでは、「今、伝えたい私の思い」をテーマに、人と人が豊かにつながり、共に生きることのできる社会を目指して取り組む5人の思いを紹介します。今の社会の状況をさまざまな人の視点から捉えて課題を明らかにし、何を大切にしていくのか、全ての人々が安心して暮らせる社会とはどのような社会なのかを考えるきっかけにしたいと思います。

学習教材抜粋

ハイタッチ

コロナウイルスを予防

マスクをつける

近づかないで、二メートル

近づかない 近づけない

ゆうたくんと

横断歩道のむこうとこつちで

向き合った

すると、ゆうたくんが手をふってきた

ぼくもふりかえした

こんどは ゆうたくんが もっともっと大きく

手をふってきた

ぼくも負けないぐらい大きくふり返した

けっきょくゆうたくんとは

なんにも話さなかった

だってマスクもしているし

ゆうたくんとぼくは はなれたまんま

でも

二人でハイタッチしたような

二人であくしゅしたような

そんな気持ちになったよ



人権教育課では、新型コロナウイルス感染症に伴う偏見や差別に気づき、なくしていくための学習教材などを作成しました。誰もが安心して暮らせる未来へつなげるために、子どもたちも学んでいます。